

オーストラリア経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicator (Australia)



三菱東京UFJ銀行

経済調査室

Economic Research Office

概況

豪州経済は、資源関連投資が落ち込むなか、住宅価格や株価の上昇に伴う資産効果を背景に個人消費が堅調を維持し、緩やかな回復を続けてきたが、足元では資源価格の下落の影響で減速している。2014年10-12月期の実質GDP成長率は前年比+2.5%と、前期(同+2.7%)から幾分減速した。需要項目別にみると、個人消費が引き続き堅調を維持した。一方、設備・機械投資や建設投資等の民間投資は鉱業部門の落ち込みを主因にマイナスが続き、成長を押し下げた。2014年通年では、同+2.7%と前年(同+2.0%)から加速した。

今後の豪州経済は、低金利やインフレ率低下に伴う実質購買力の向上が個人消費を下支えするものの、資源価格下落による幅広いマイナス影響や、資源投資ブーム終焉後の景気を牽引してきた住宅投資がピークアウトに向かうことなどを背景に、2015年の実質GDP成長率は同+2.2%まで減速する見通しである。

雇用・物価

・**雇用**：雇用環境は依然軟調である。2月の失業率は6.3%と1月の6.4%から小幅に低下した。雇用者数はフルタイムと、パートタイムの双方が増加し、15.6千人の増加となった。ただし、労働参加率の低下も失業率の押し下げ要因となった。求人広告や欠員率、企業の雇用意欲がいずれも低水準に止まるなか、失業率はもう一段上昇する虞もある。

・**物価**：2014年10-12月期の消費者物価上昇率は前年比+1.7%と、前期(同+2.3%)から大幅に低下した。賃金の伸び悩みに加え、昨年7月の炭素税廃止がインフレ率を押し下げたことで、RBAの目標レンジ(2-3%)を下回った。企業収益が伸び悩むなか、賃金の伸びは今後も低調に止まる見込みであり、物価上昇圧力は弱いままとなる公算が大きい。

貿易

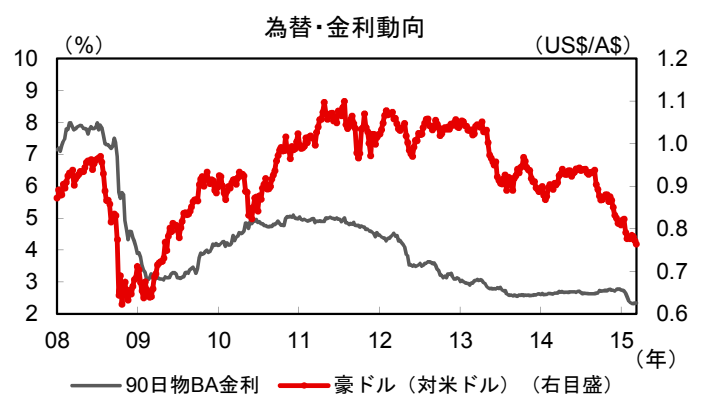
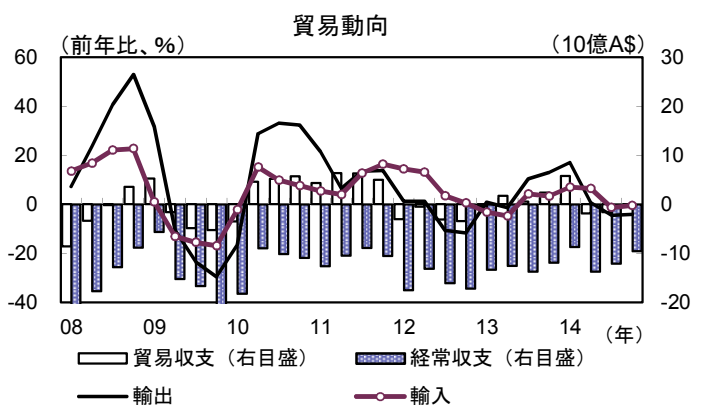
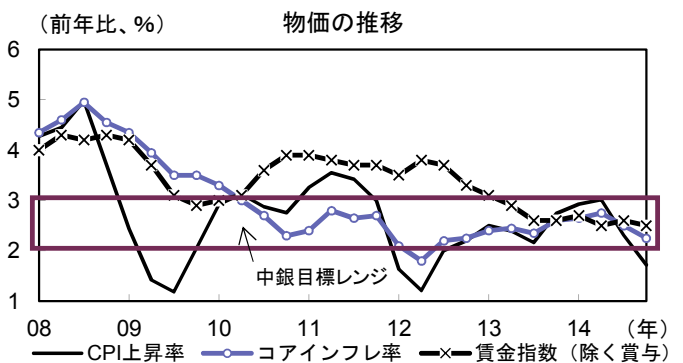
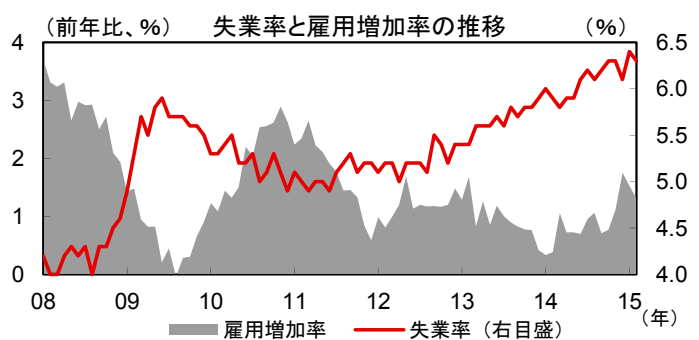
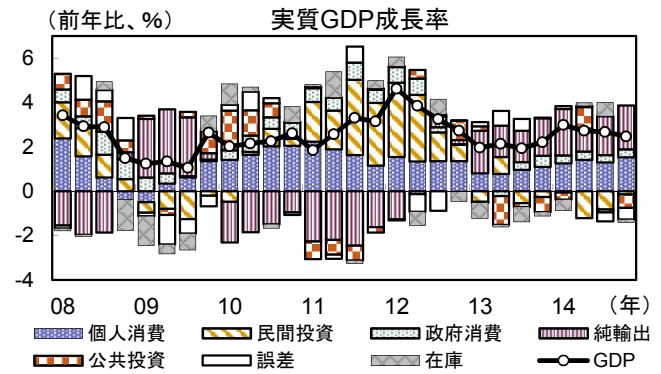
2014年10-12月期の輸出は、最大の相手先である中国向けが減少し、前年比▲4.2%と、2四半期連続でマイナスを記録した。財別にみると、天然ガスがプラスに寄与したものの、鉄鉱石や石炭が減少した。鉄鉱石価格は、豪州からの供給増と中国を中心とした新興国の需要減による供給過剰感の高まりや、中国の成長目標引き下げを受けて、3月に入り60米ドル/トンを下回り、直近ピーク(2013年12月)比約5割下落しており、2015年入り後も、輸出を下押しすると考えられる。他方、輸入は同▲0.5%と減少し、貿易収支は3期連続で赤字となった。

金融・為替

・**為替**：豪ドルは中国经济指標の弱含みや、資源価格の一段の下落から、昨年12月には1豪ドル=0.81米ドルまで下落した。年明け後は、欧州やカナダ等他の先進国の金融緩和の流れから、豪州も金融緩和期待が台頭し、豪ドルは下落を続けた。2月に利下げが実施された後は、一時同0.76米ドル台と約6年ぶりの水準を記録した。3月入り後は、中銀の金利据え置きを受けて同0.77-0.78米ドル台で推移していたが、足元では米国の早期利上げへの期待を受けて、再び同0.76米ドル台で推移している。(1豪ドル=0.7640米ドル、3/16)

・**金利**：中銀RBAは、2月の会合で1年半ぶりに利下げを決定し、政策金利は、過去最低の2.25%となった。利下げの主な理由は、消費者物価指数の伸びの鈍化、労働市場に改善が見られない点、豪ドル水準の高さ、世界的な金融緩和の影響が挙げられる。さらに、声明文では、「政策金利を当面据え置く」との文言が削除された。その後、3月の理事会では、政策金利を据え置いた。しかし、今後の金融政策について、「持続可能な需要の伸びとインフレ目標達成のためには、更なる金融緩和が適切となる可能性がある」と述べており、追加利下げに含みを残した。

(3/16：90日物BA金利：2.34%、10年物金利：2.48%)



オーストラリア経済・金融概況

1. 年・四半期

	2012	2013	2014	14/1-3	14/4-6	14/7-9	14/10-12
* 実質GDP成長率 (%) (上:前期比,下:前年同期比)	3.7	2.0	2.7	1.1	0.5	0.4	0.5
				3.0	2.7	2.7	2.5
* 小売売上高 (10億A\$)	257,490 (3.4)	265,948 (3.3)	279,536 (5.1)	69,160 (5.6)	69,504 (5.5)	70,107 (5.3)	70,765 (4.1)
* 乗用車販売台数 (千台)	576.07 (2.8)	567.18 (▲1.5)	533.02 (▲6.0)	136.77 (▲2.3)	133.83 (▲6.5)	132.09 (▲6.8)	130.33 (▲8.4)
* 住宅建設許可件数 (千件)	154.60 (▲0.1)	178.63 (15.5)	201.58 (12.8)	50.3 (27.0)	48.4 (13.4)	49.5 (5.8)	53.5 (7.7)
* 失業率 (%)	5.2	5.7	6.1	5.9	6.0	6.2	6.2
賃金指数 (除く賞与)、前年比 (%)	3.6	2.8	2.6	2.7	2.5	2.6	2.5
消費者物価指数 (2011/12=100,#)	101.0 (1.8)	103.5 (2.4)	106.1 (2.5)	105.4 (2.9)	105.9 (3.0)	106.4 (2.3)	106.6 (1.7)
◎RBA商品価格指数 (米ドル建)	97.5	94.2	71.5	89.6	82.8	78	71.5
* 輸 出 (百万A\$) ※	249,211 (▲5.3)	263,104 (5.6)	268,143 (1.9)	72,302 (17.0)	65,291 (0.7)	64,608 (▲4.5)	65,942 (▲4.2)
* 輸 入 (百万A\$) ※	259,255 (7.6)	258,863 (▲0.2)	266,074 (2.8)	66,533 (7.0)	67,180 (6.5)	66,240 (▲1.3)	66,121 (▲0.5)
* 貿易収支 (百万A\$) ※	▲10,044	4,241	2,069	5,769	▲1,889	▲1,632	▲179
* ◎経常収支 (百万A\$) ※	▲64,011	▲51,587	▲44,171	▲8,700	▲13,753	▲12,130	▲9,588
◎外貨準備 (百万US\$)	49,123	53,227	53,891	57,360	59,225	53,292	53,891
* ◎マネー・サプライ (M3) (10億A\$)	1509.0 (7.1)	1613.1 (6.9)	1733.6 (7.5)	1638.5 (6.9)	1671.3 (7.1)	1709.5 (8.4)	1733.6 (7.5)
◎政策金利 (%)	3.00	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
◎90日物BA利回り (%)	3.04	2.60	2.77	2.65	2.68	2.69	2.77
◎10年物国債利回り (%)	3.27	4.24	2.74	4.08	3.54	3.48	2.74
◎株価指数 (79/12/31=500)	4,665	5,353	5,389	5,403	5,382	5,297	5,389
○為替相場 (US\$/A\$)	1.0375	0.9568	0.8986	0.8981	0.9343	0.9127	0.8493

(注) *印: 季節調整済、 ※印: 国際収支ベース、 ◎印: 期末値、 ○印: 期中平均値、 #印: 基準年は年度(7~6月)ベース

カッコ内は前年同期比増減率 (%)、対外準備のうち金は市場価格で評価

(出所) Reserve Bank of Australia, Australian Bureau of Statistics, 等

オーストラリア経済・金融概況

2. 月次

	14/6	14/7	14/8	14/9	14/10	14/11	14/12	15/1	15/2
* 実質GDP成長率 (%)	0.5			0.4			0.5		
(上:前期比,下:前年同期比)	2.7			2.7			2.5		
* 小売売上高	23,213	23,284	23,370	23,453	23,527	23,591	23,647	23,698	
(10億A\$)	(5.5)	(5.5)	(5.3)	(5.1)	(4.7)	(4.3)	(3.3)	(3.1)	
* 乗用車販売台数	44.6	44.5	43.7	43.8	43.4	42.9	44.0	43.4	43.0
(千台)	(▲7.7)	(▲4.8)	(▲8.8)	(▲6.9)	(▲8.0)	(▲10.0)	(▲7.2)	(▲5.4)	(▲6.6)
* 住宅建設許可件数	16.1	16.7	17.5	15.3	17.2	18.4	17.9	19.3	
(千件)	(19.7)	(11.8)	(20.6)	(▲11.7)	(3.3)	(10.2)	(9.6)	(9.1)	
* 失業率 (%)	6.1	6.2	6.1	6.2	6.3	6.3	6.1	6.4	6.3
賃金指数 (除く賞与)、前年比 (%)	2.5			2.6			2.5		
消費者物価指数	105.9			106.4			106.6		
(2011/12=100,#)	(3.0)			(2.3)			(1.7)		
RBA商品価格指数 (米ドル建)	82.8	81.7	80.2	78.0	75.5	74.3	71.5	69.9	67.4
* 輸 出 (百万A\$) ※	21,270	21,764	21,369	21,475	21,901	21,872	22,169	22,517	
	(▲2.4)	(▲0.6)	(▲6.9)	(▲5.9)	(▲3.4)	(▲3.4)	(▲5.7)	(▲7.9)	
* 輸 入 (百万A\$) ※	22,102	22,086	21,471	22,683	22,155	22,116	21,850	22,667	
	(4.9)	(▲0.7)	(▲5.3)	(2.0)	(0.1)	(1.2)	(▲2.6)	(0.4)	
* 貿易収支 (百万A\$) ※	▲832	▲322	▲102	▲1,208	▲254	▲244	319	▲150	
* 経常収支 (百万A\$) ※	▲13,753			▲12,130			▲9,588		
◎外貨準備 (百万US\$)	59,225	58,475	56,134	53,292	47,210	52,426	53,891	48,660	
* ◎マネー・サプライ (M3)	1671.3	1689.7	1697.8	1709.5	1715.7	1722.3	1733.6	1739.7	
(10億A\$)	(7.1)	(7.7)	(8.3)	(8.4)	(8.0)	(7.7)	(7.5)	(7.3)	
◎政策金利 (%)	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.25
◎90日物BA利回り (%)	2.68	2.64	2.63	2.69	2.72	2.74	2.77	2.53	2.32
◎10年物国債利回り (%)	3.54	3.51	3.29	3.48	3.29	3.03	2.74	2.44	2.46
◎株価指数 (79/12/31=500)	5,382	5,623	5,625	5,297	5,505	5,298	5,389	5,552	5,898
◎為替相場 (US/A\$)	0.9433	0.9295	0.9339	0.8747	0.8798	0.8506	0.8175	0.7762	0.7808

(注) *印: 季節調整済、 ※印: 国際収支ベース、 ◎印: 期末値、 ○印: 期中平均値、

#印: 基準年は年度(7~6月)ベース

カッコ内は前年同期比増減率(%)、対外準備のうち金は市場価格で評価

(出所) Reserve Bank of Australia, Australian Bureau of Statistics, 等

照会先: 経済調査室 大幸 雅代 masayo_taiko@mufg.jp

鷹巢 里奈 rina_takasu@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品お売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくご願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。